

(件名)

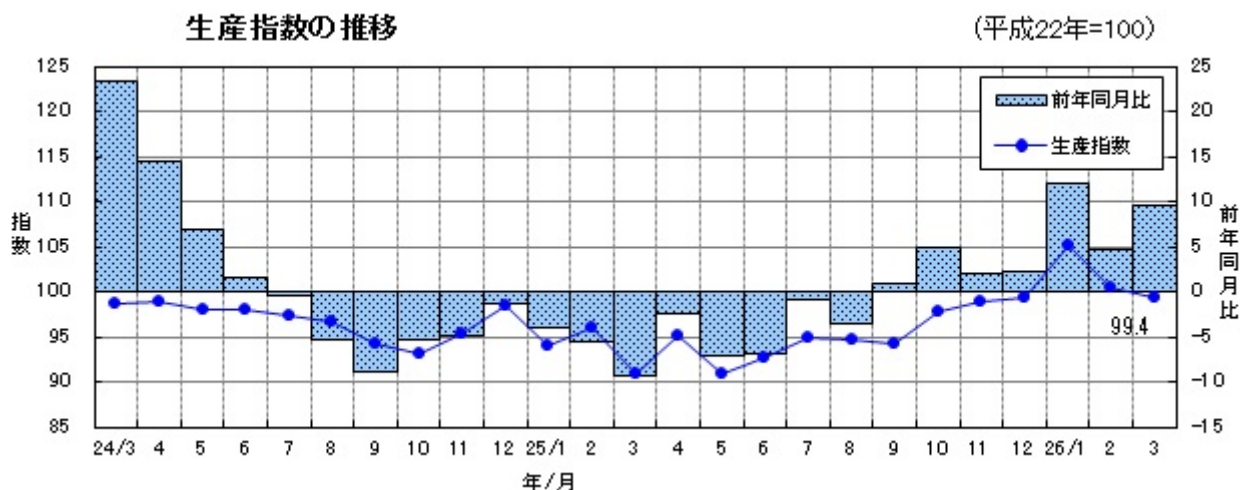
生産指数は前年同月比7か月連続上昇、持ち直しの動きで推移 (静岡県鉱工業指数 平成26年3月分速報)

1 生産指数の動き

3月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成22年=100）は**99.4**となり、前月比は**1.0%減**と2か月連続して低下した。

また、前年同月比（原指数）は**9.5%増**と7か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、窯業・土石製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、化学、プラスチック製品等が低下した。

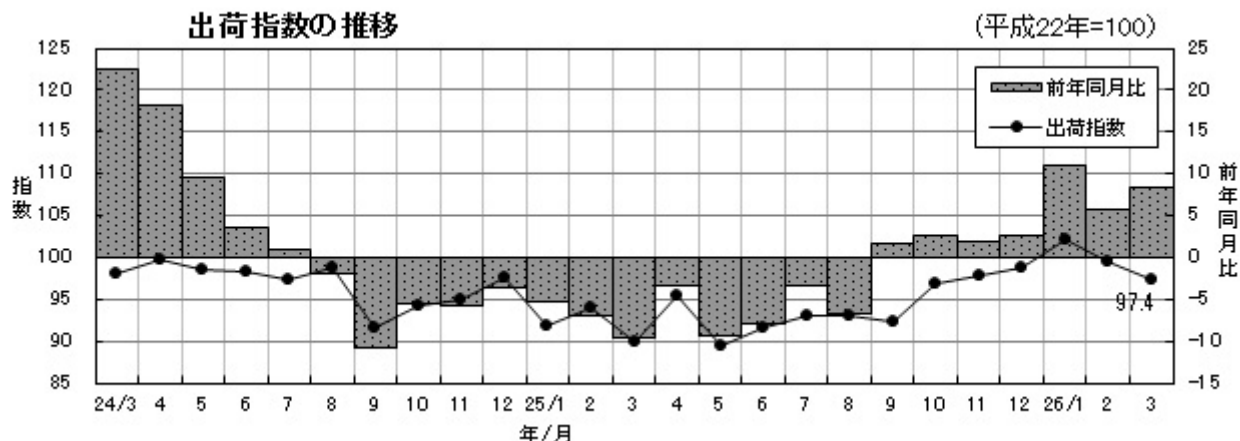


2 出荷指数の動き

3月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成22年=100）は**97.4**となり、前月比は**2.2%減**と2か月連続して低下した。

また、前年同月比（原指数）は**8.5%増**と7か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、はん用・生産用・業務用機械、金属製品、繊維等が上昇する一方、化学、輸送機械、食料品・たばこ等が低下した。

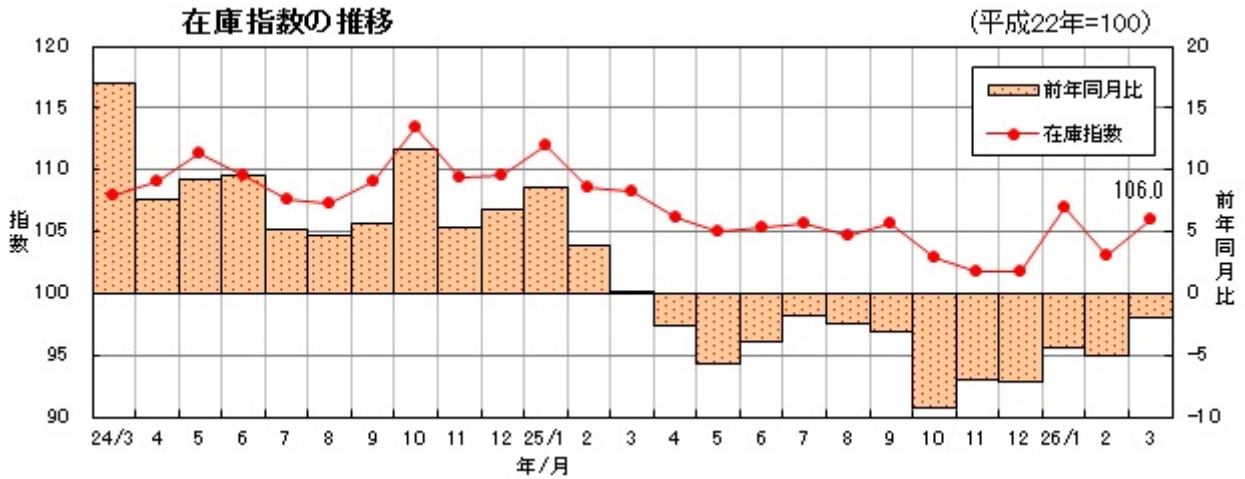


3 在庫指数の動き

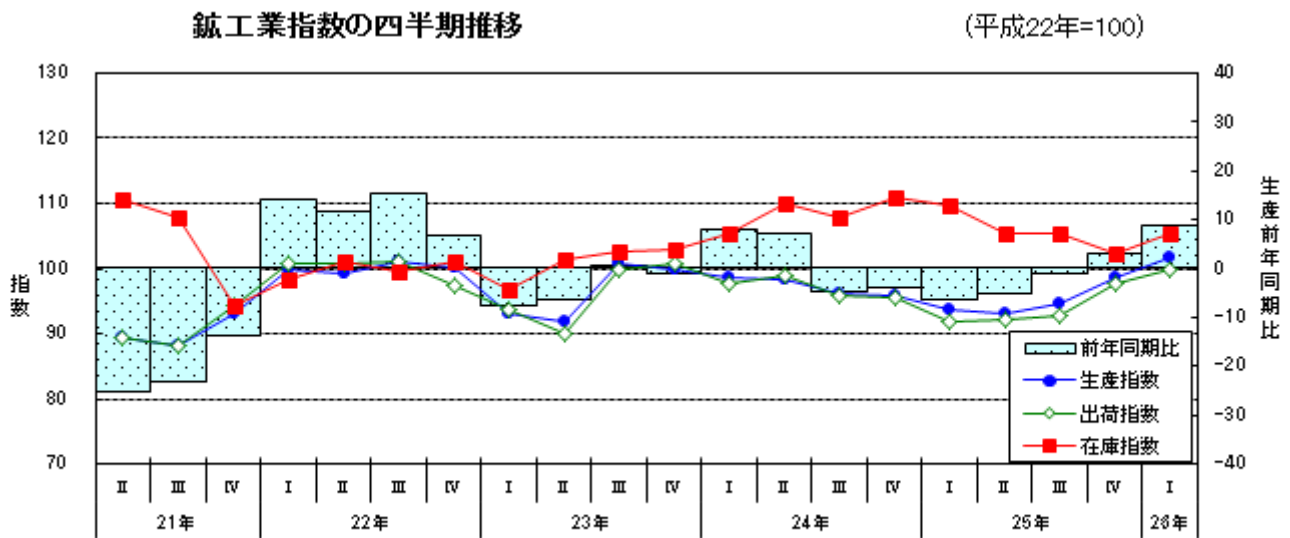
3月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**106.0**となり、前月比は**2.8%増**と2か月ぶりに上昇した。

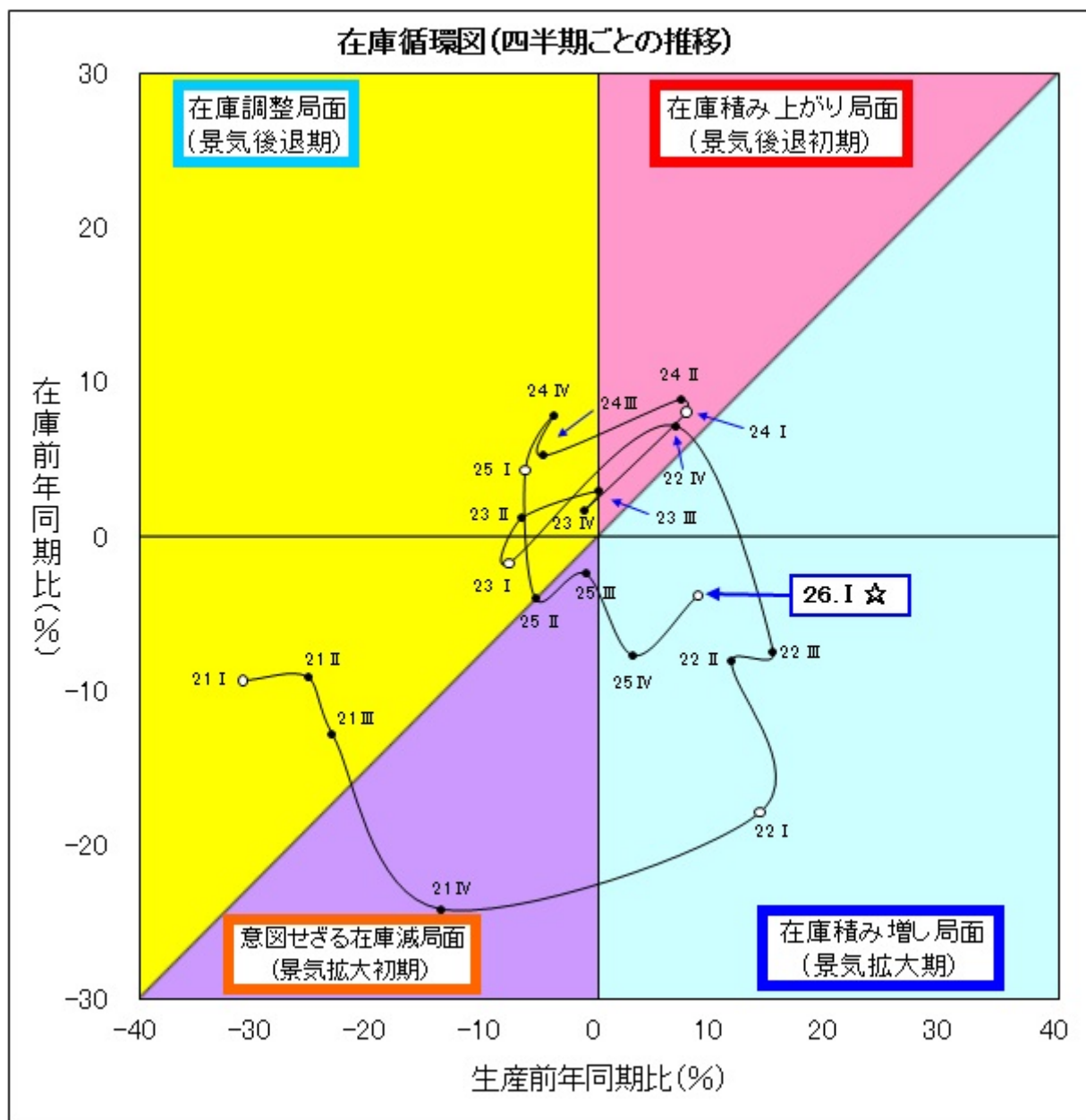
また、前年同月比（原指数）は**2.0%減**と12か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、窯業・土石製品等が上昇する一方、その他製品、食料品・たばこ、家具等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図





☆ 在庫積み増し局面 (景気拡大期) ← 今季はここに該当

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。